

5. 介護保険

(1) 要介護認定の状況

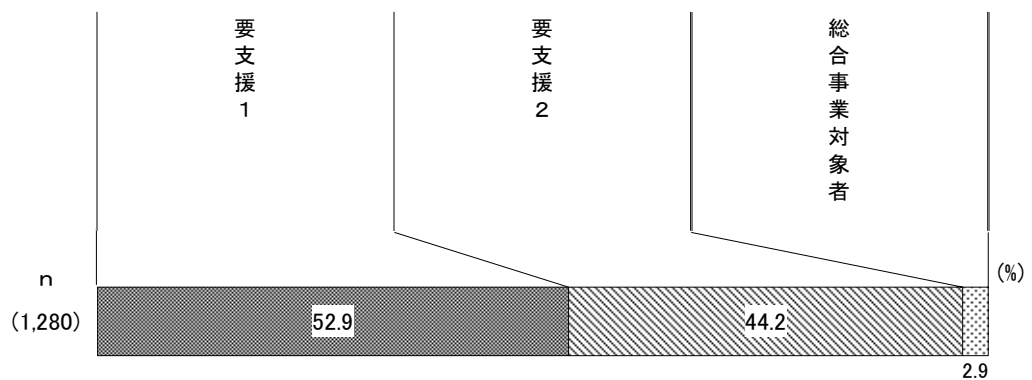
① 要介護度

○要支援認定者では、「要支援1」が52.9%、「要支援2」が44.2%、「総合事業対象者」が2.9%となっている。

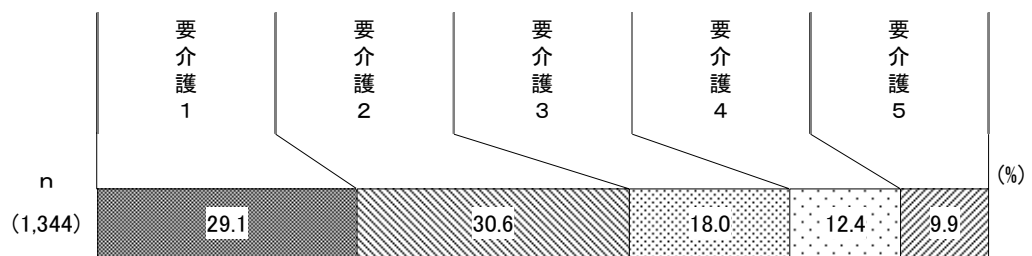
○要介護認定者では、“軽度”（「要介護1」と「要介護2」の合計）が59.7%、“中重度”（「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」の合計）が40.3%となっている。

○特養入所待機者では、“軽度”が3.2%、“中重度”が88.1%となっている。

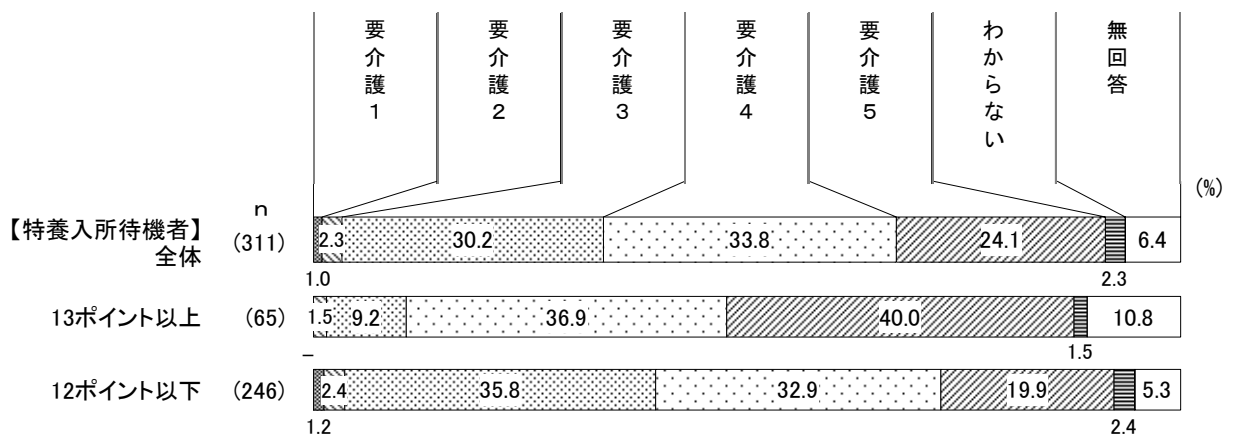
要支援認定者



要介護認定者



特養入所待機者

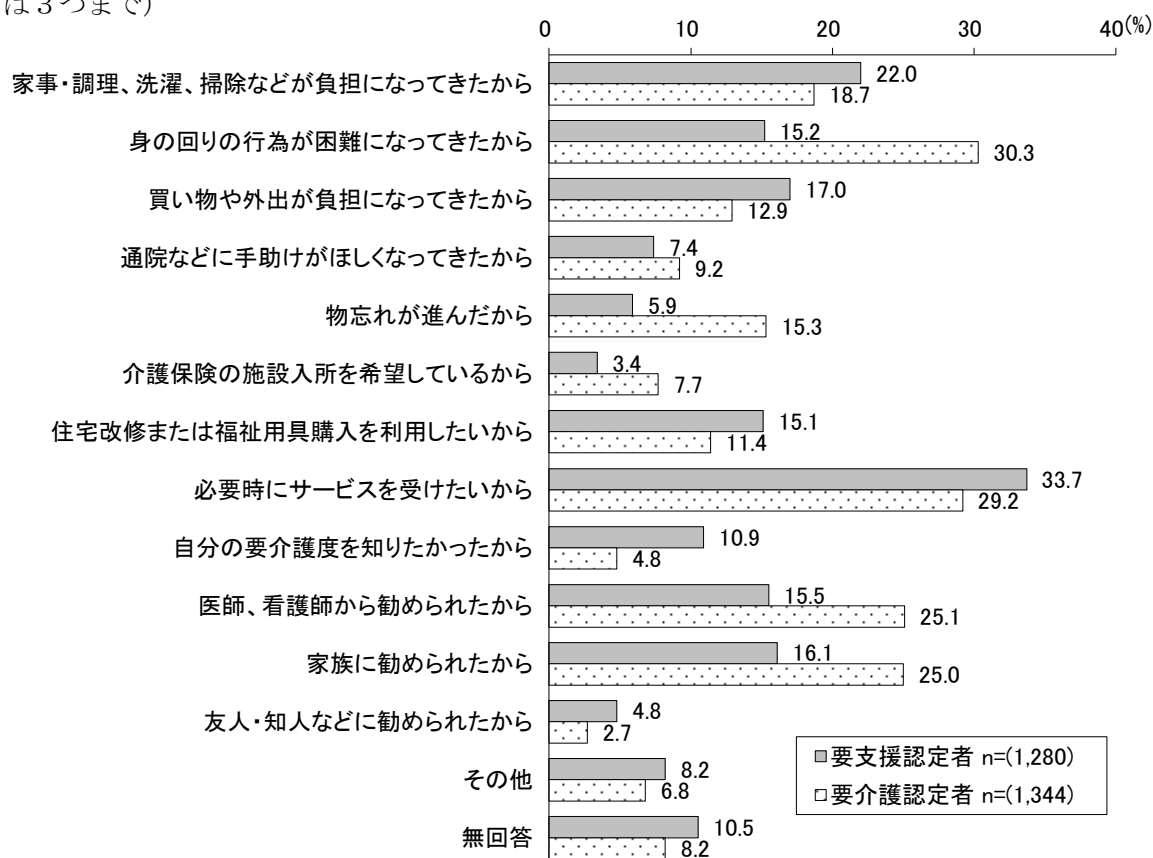


②要介護認定を申請した理由

○要介護認定を申請した理由は、要支援認定者では「必要時にサービスを受けたいから」(33.7%)が最も高く、次いで「家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから」(22.0%)、「買い物や外出が負担になってきたから」(17.0%)、「家族に勧められたから」(16.1%)の順となっている。

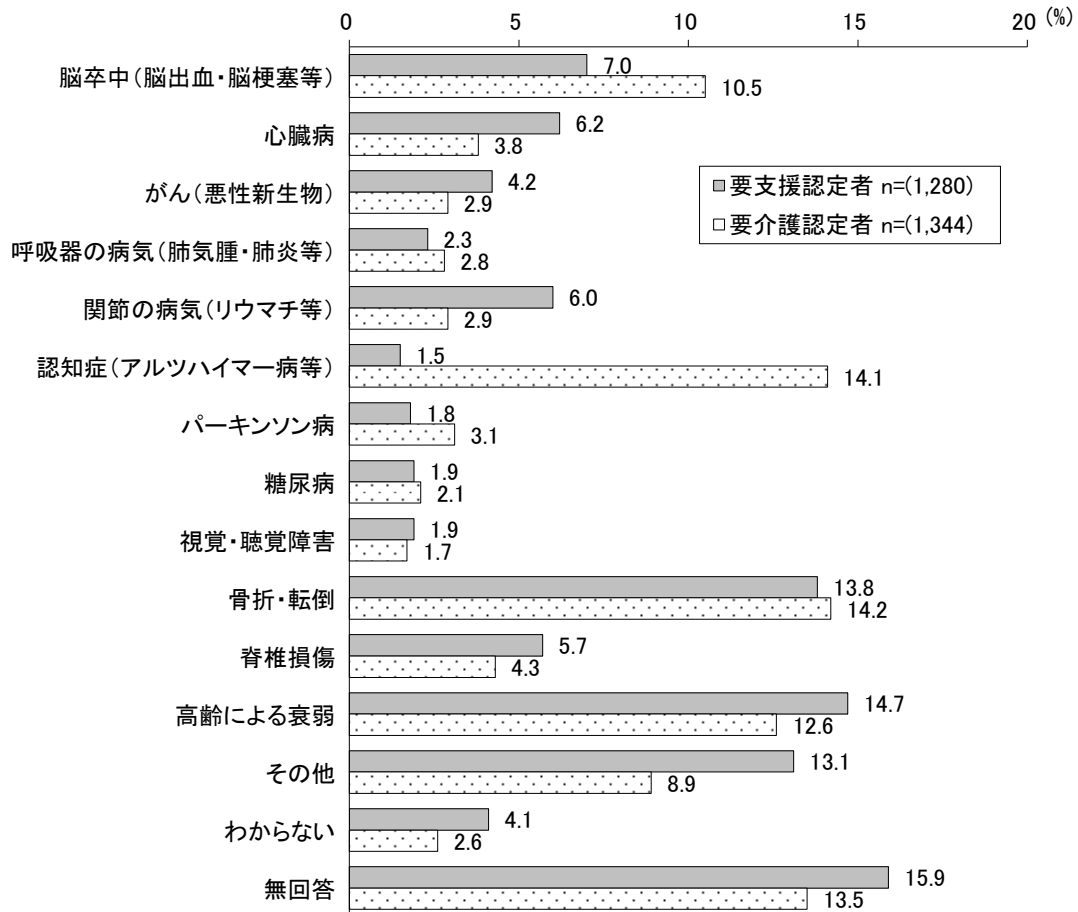
○要介護認定者では「身の回りの行為が困難になってきたから」(30.3%)が最も高く、次いで「必要時にサービスを受けたいから」(29.2%)、「医師、看護師から勧められたから」(25.1%)、「家族に勧められたから」(25.0%)の順となっている。

(○は3つまで)



③要介護認定を申請した主な原因

- 要支援認定者では、「高齢による衰弱」(14.7%)が最も高く、「骨折・転倒」(13.8%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(7.0%)が上位に挙げられている。
- 要介護認定者では、「骨折・転倒」(14.2%)が最も高く、「認知症(アルツハイマー病等)」(14.1%)、「高齢による衰弱」(12.6%)が上位に挙げられている。
- 要介護認定者では、「認知症(アルツハイマー病等)」が14.1%で、要支援認定者(1.5%)と比べて高くなっている。



(2) 介護保険サービス

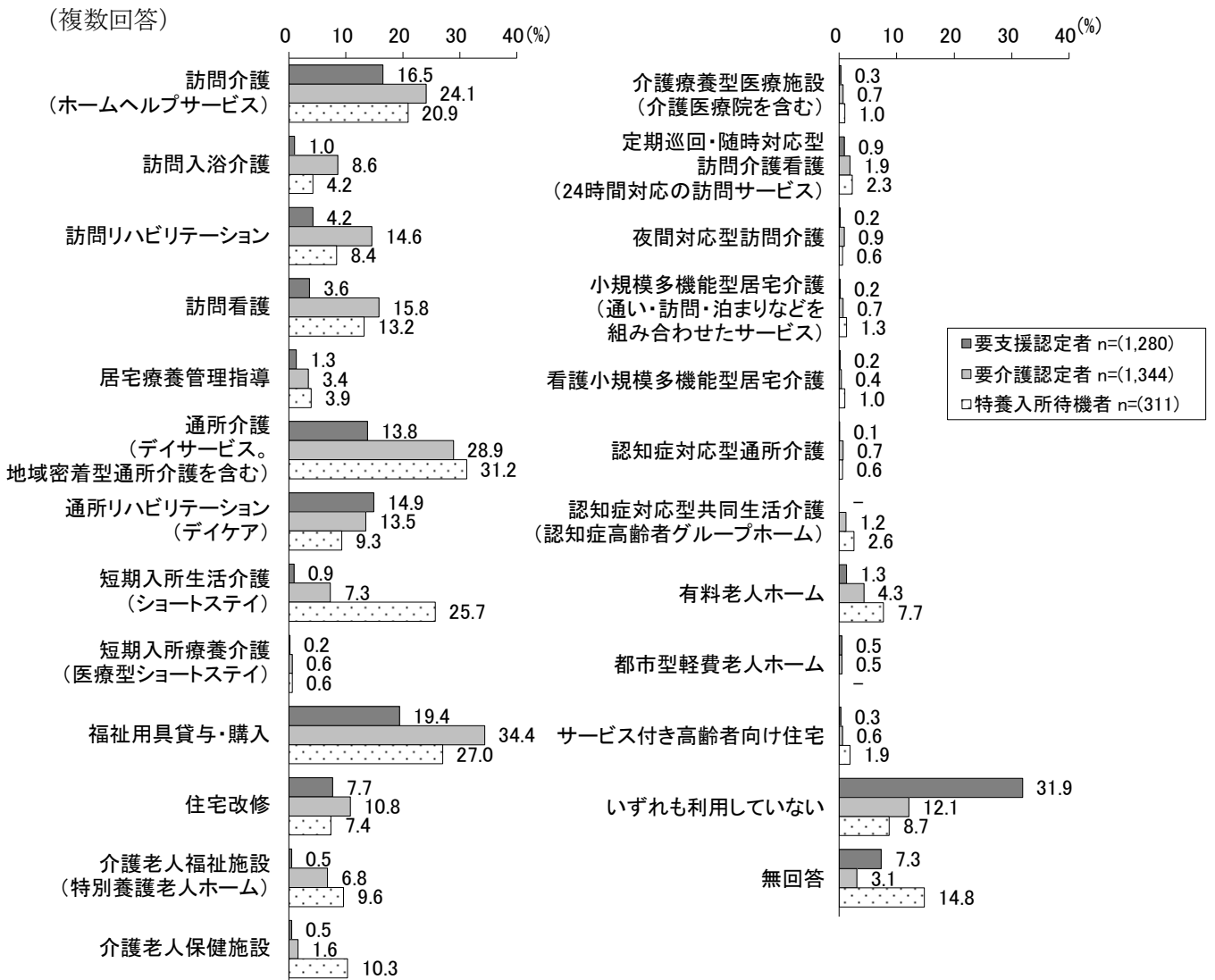
①介護保険サービスの利用状況

○要支援認定者では、「いずれも利用していない」(31.9%)が最も高くなっている。利用状況は、「福祉用具貸与・購入」(19.4%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(16.5%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(14.9%)が上位に挙げられている。

○要介護認定者では、「福祉用具貸与・購入」(34.4%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(28.9%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(24.1%)の順となっている。

○特養入所待機者では、「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(31.2%)が最も高く、次いで「福祉用具貸与・購入」(27.0%)、「短期入所生活介護(ショートステイ)」(25.7%)の順となっている。

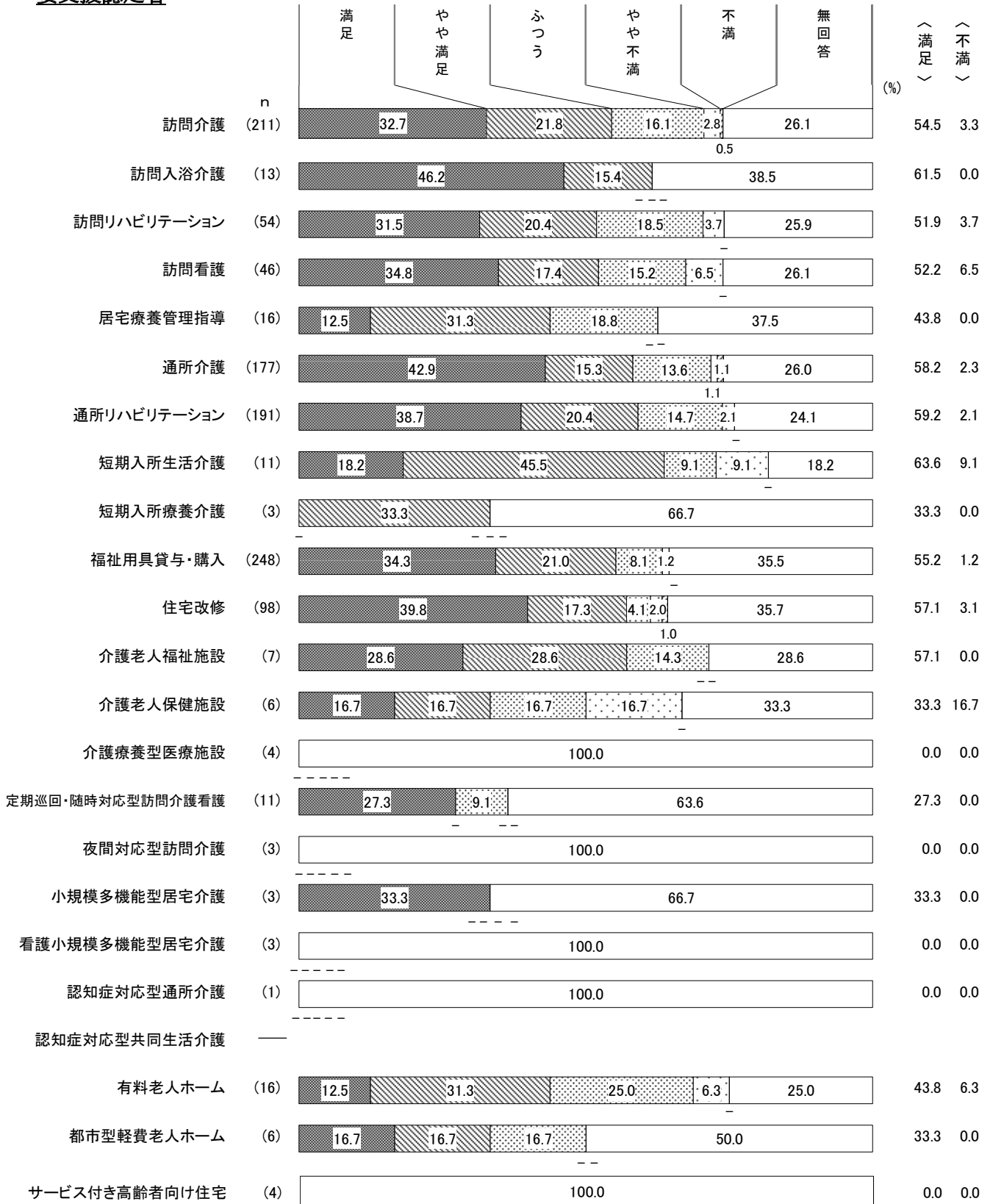
○特養入所待機者では、「短期入所生活介護(ショートステイ)」が2割半ばと他の調査と比べて高くなっている。



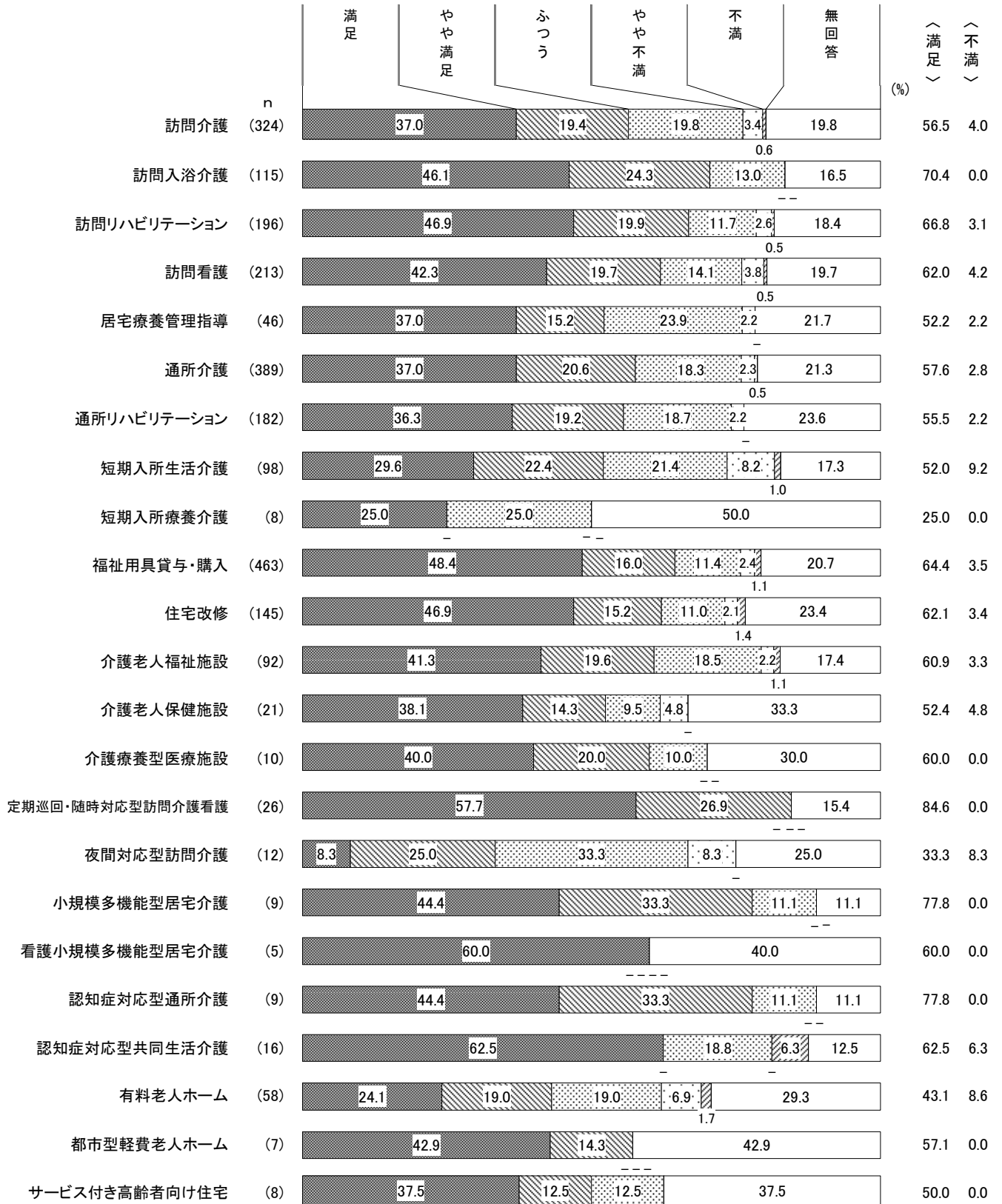
②介護保険サービスの満足度

○介護保険サービスを利用していると回答した人の利用しているサービスの満足度は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者ともに、各サービスの“満足”（「満足」と「やや満足」の合計）が“不満”（「不満」と「やや不満」の合計）を大きく上回っている。

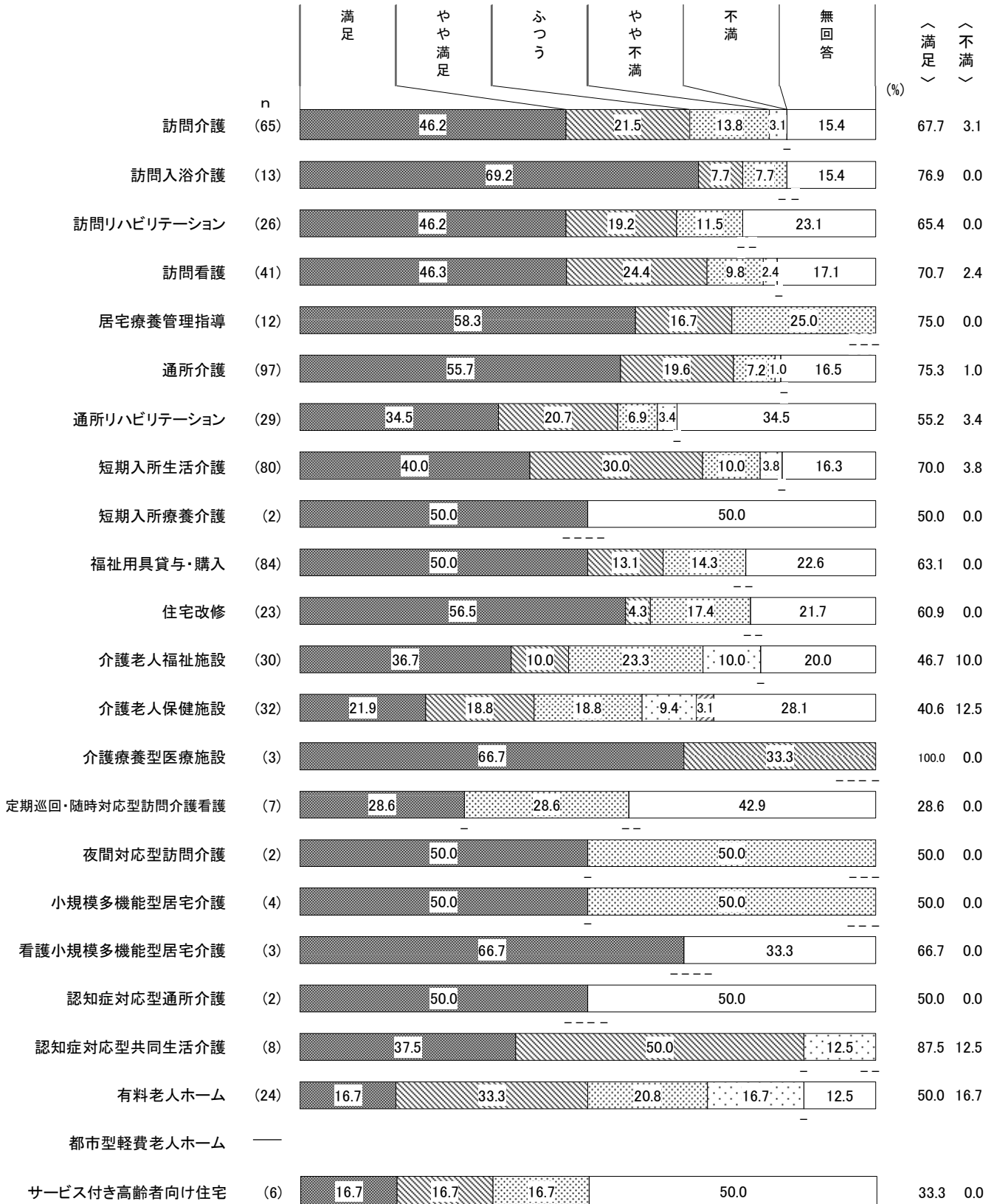
要支援認定者



要介護認定者



特養入所待機者

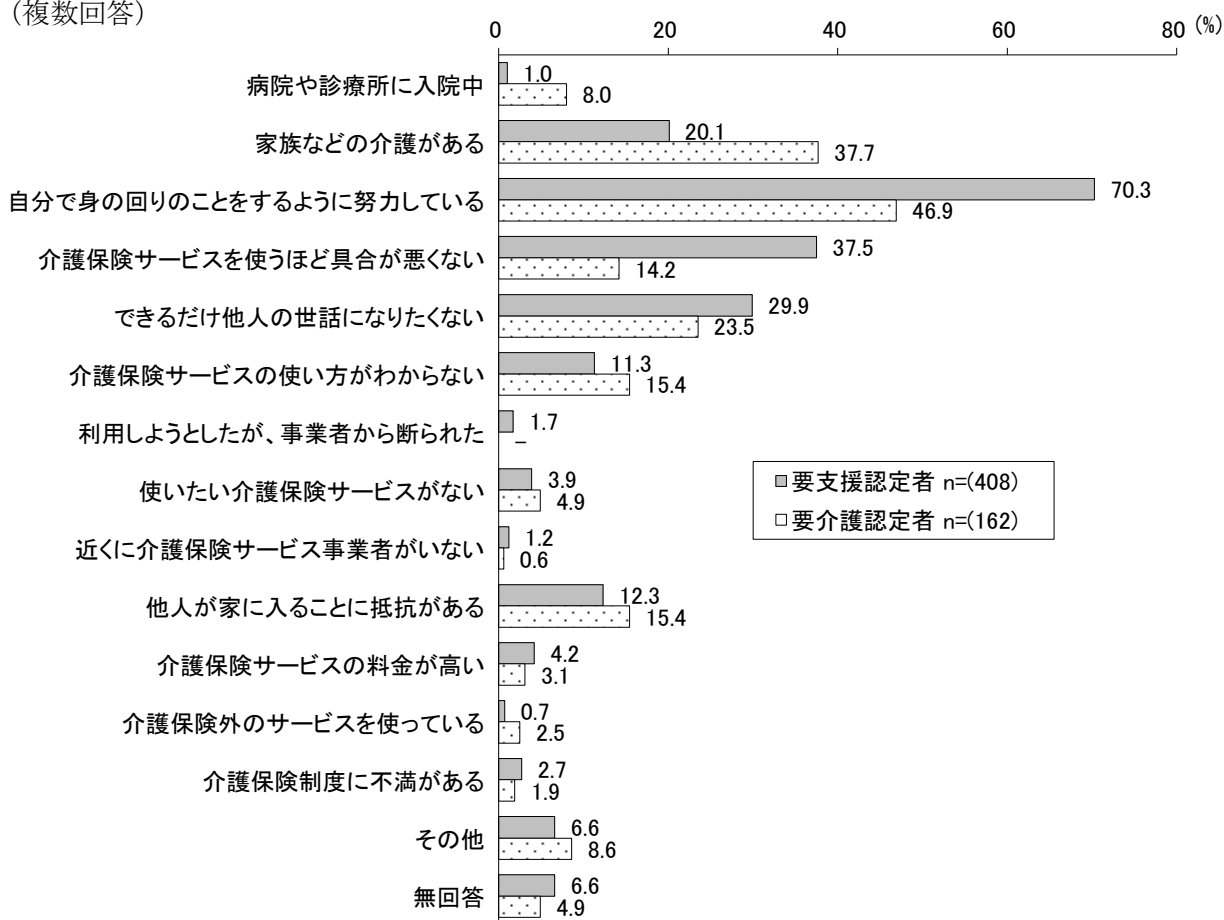


③介護保険サービスを利用していない理由

○介護保険サービスを「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、要支援認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(70.3%)が最も高く、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(37.5%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(29.9%)の順となっている。

○要介護認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(46.9%)が最も高く、次いで「家族などの介護がある」(37.7%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(23.5%)の順となっている。

(複数回答)

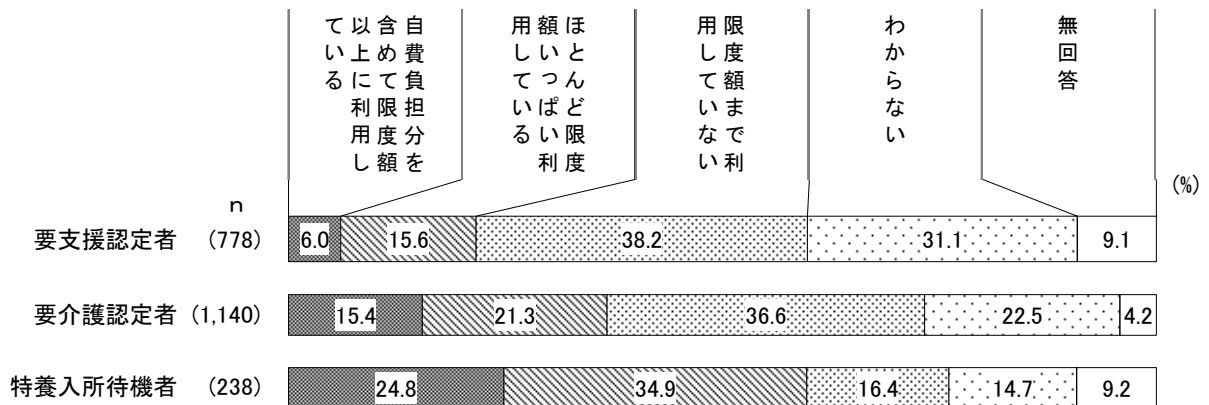


(3) 支給限度額に対する介護保険サービスの利用

① 支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況

○いずれかの介護保険サービスを利用していると回答した人の支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者、要介護認定者ともに「限度額まで利用していない」が最も高く、それぞれ38.2%、36.6%となっている。

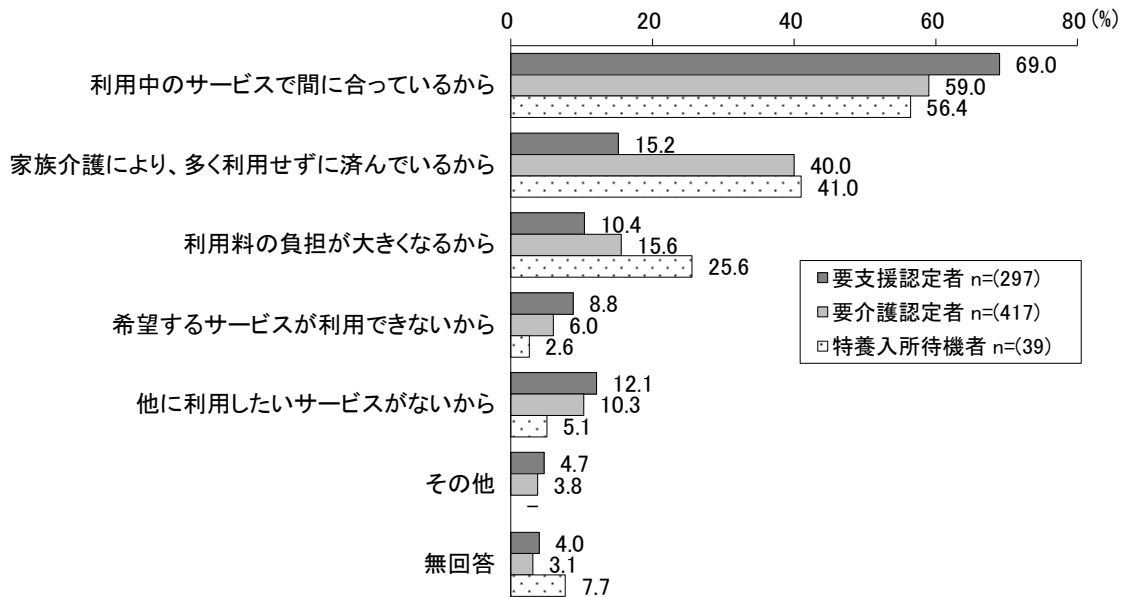
○特養入所待機者では、“支給限度額まで利用している”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が約6割となっている。



② 支給限度額まで利用していない理由

○支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の理由は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者ともに「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高く、それぞれ69.0%、59.0%、56.4%となっている。

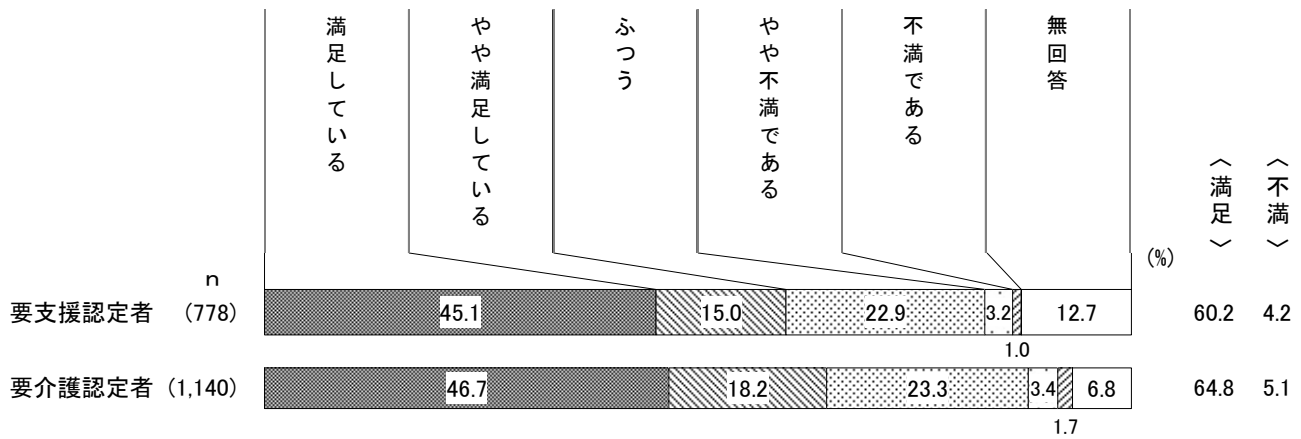
(複数回答)



(4) ケアマネジャーに対する満足度

①満足度

○いずれかの介護保険サービスを利用していると回答した人のケアマネジャーに対する満足度は、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）が、要支援認定者で60.2%、要介護認定者で64.8%と、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）を大きく上回っている。

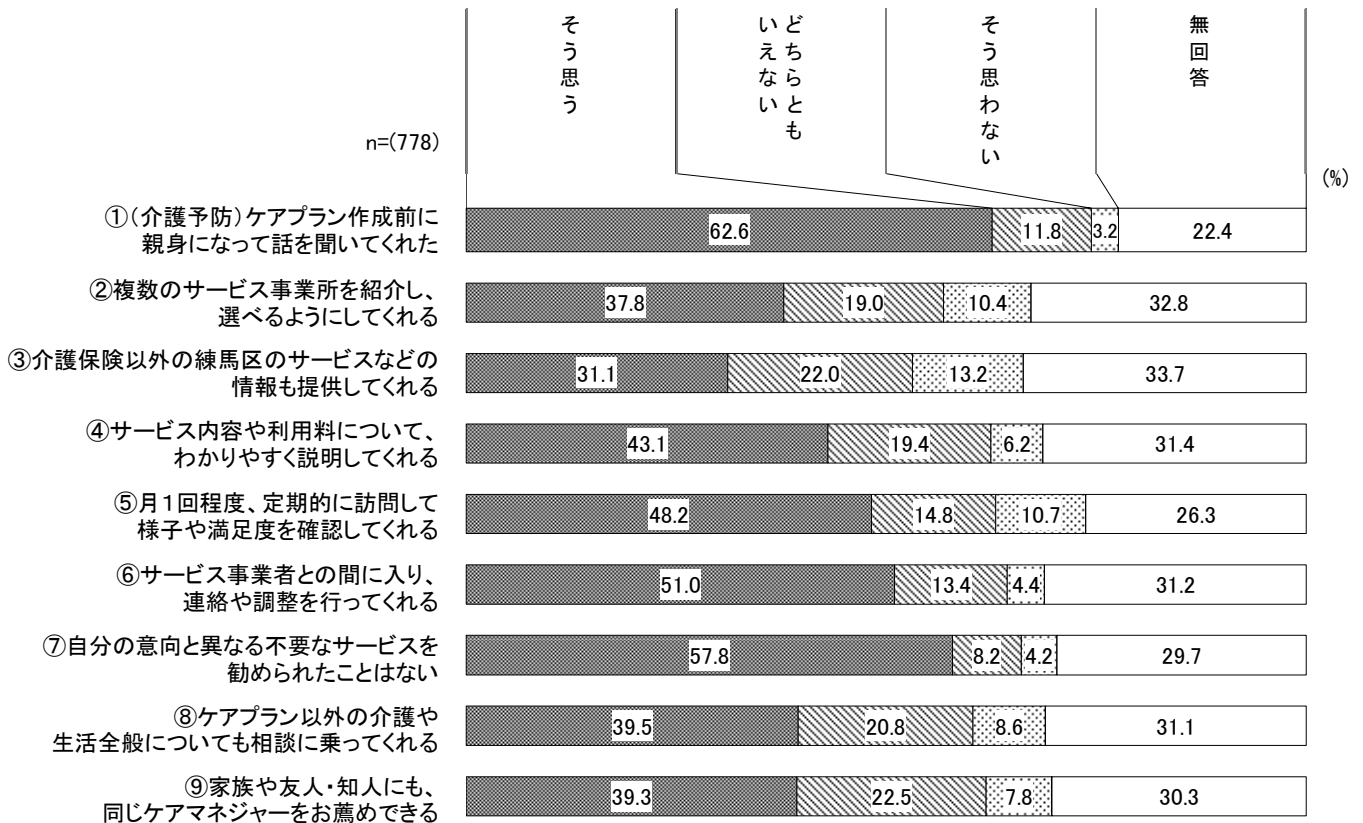


②ケアマネジャーへの考え

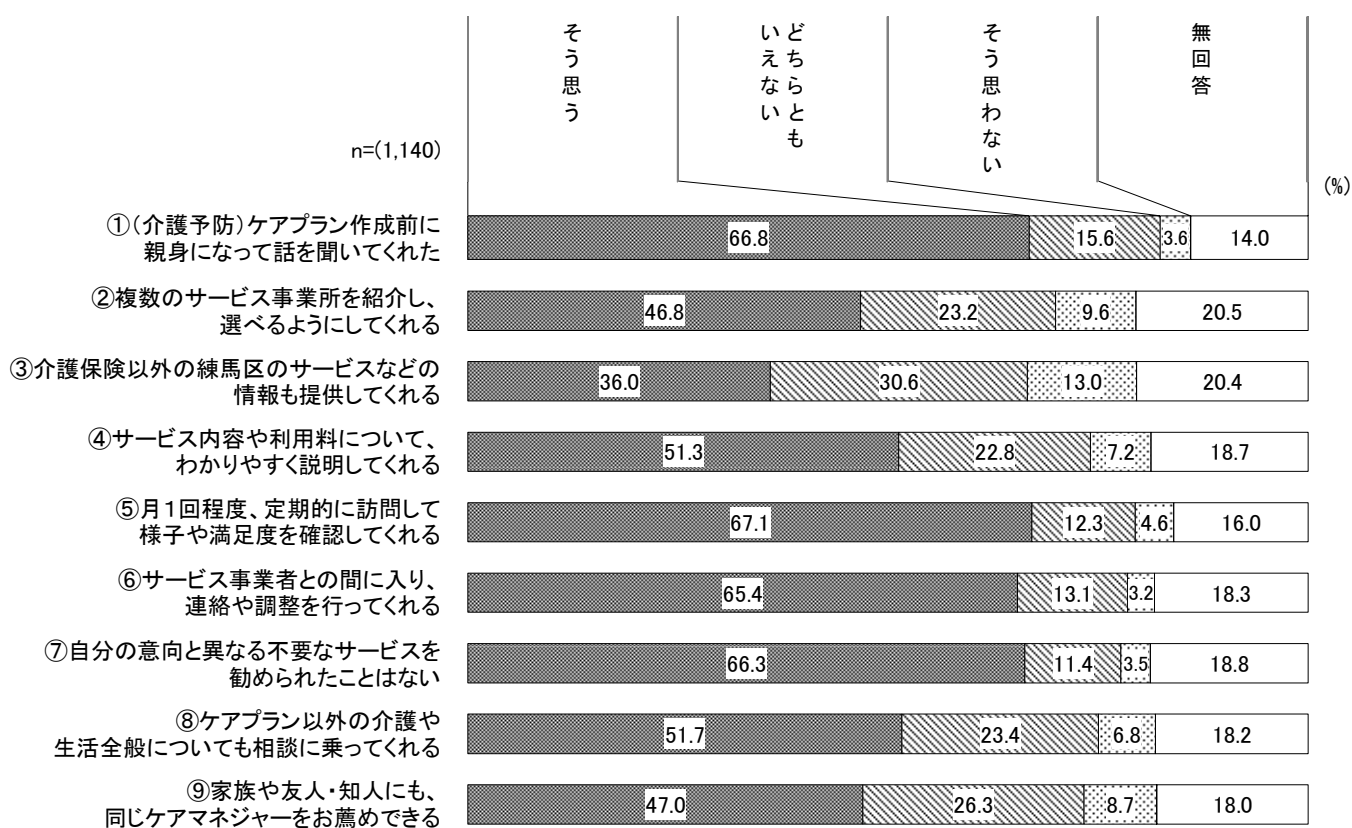
○いずれかの介護保険サービスを利用していると回答した人にケアマネジャーについてどのように感じているか聞いたところ、要支援認定者では、「①（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた」で「そう思う」の割合が最も高くなっている。

○要介護認定者では、「⑤月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる」で「そう思う」の割合が最も高くなっている。

要支援認定者



要介護認定者



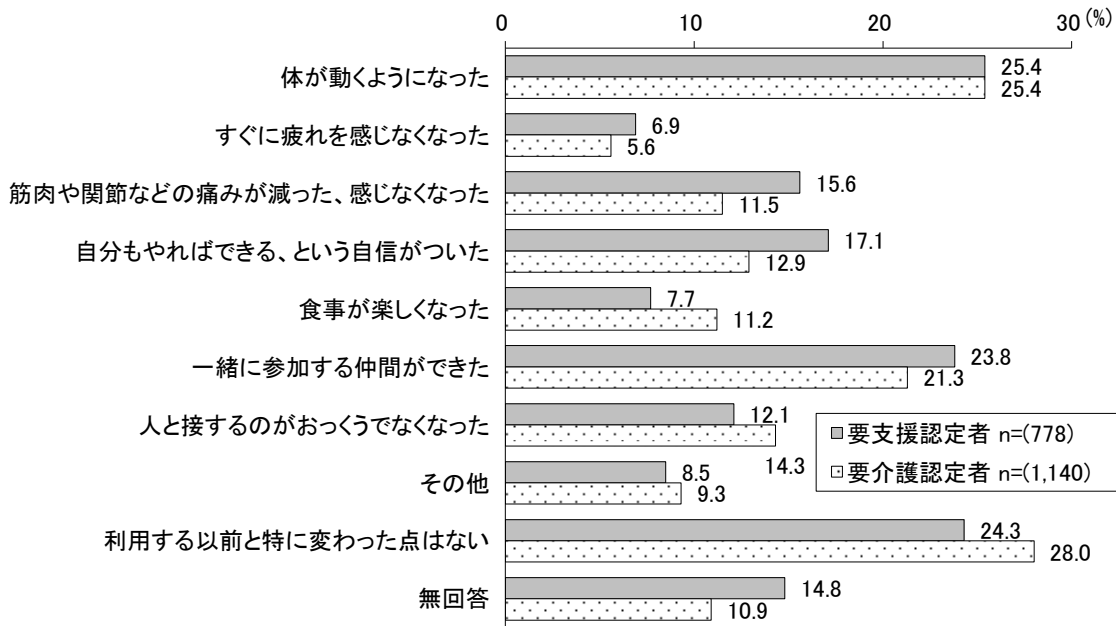
(5) 介護保険サービスの利用による変化

①介護保険サービス利用後の変化

○いずれかの介護保険サービスを利用していると回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、要支援認定者、要介護認定者ともに「体が動くようになった」、「一緒に参加する仲間ができた」が上位に挙がっている。

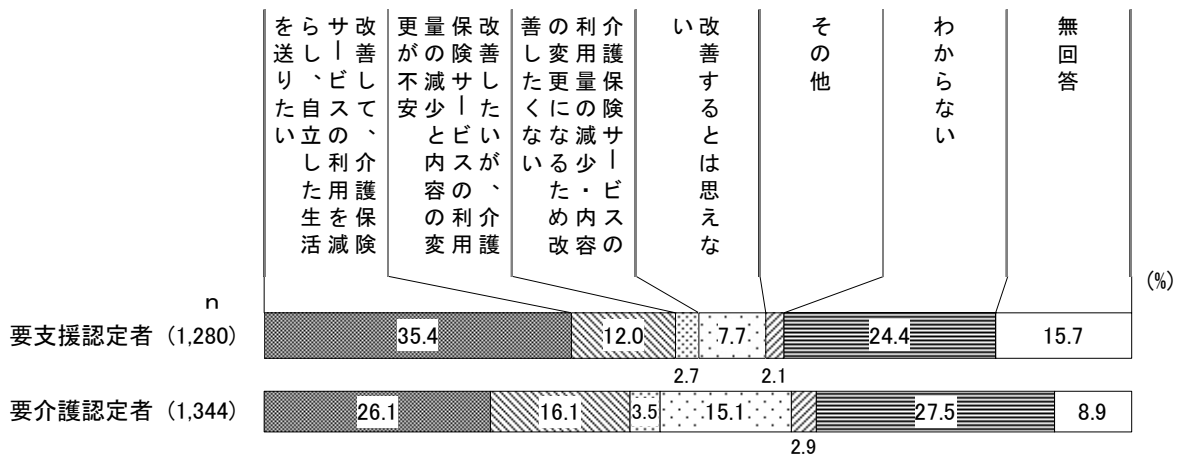
○「利用する以前と特に変わった点はない」は、要支援認定者で24.3%、要介護認定者で28.0%となっている。

(複数回答)



②要介護度の改善に対する考え

○「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が要支援認定者で35.4%、要介護認定者で26.1%となっている。



[年代別 / 要支援認定者、要介護認定者]

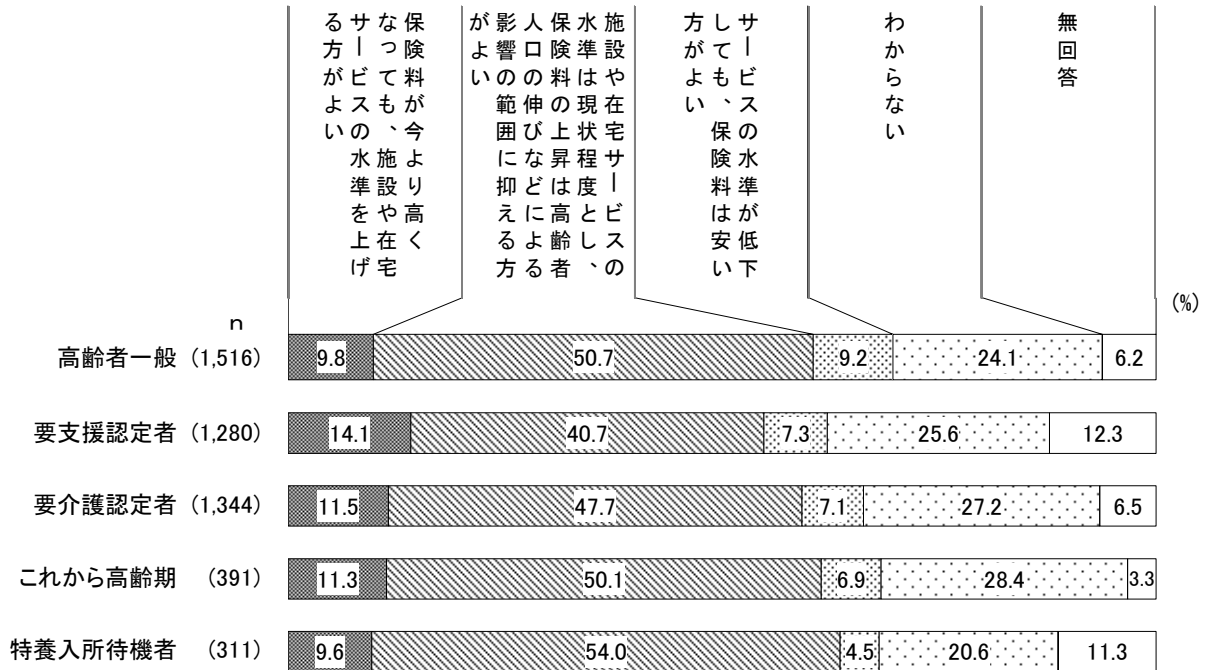
○年代別にみると、要支援認定者、要介護認定者ともに、『前期高齢者』は、「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が『後期高齢者』と比べて高くなっている。

	n	立ビ改 したス善 ののして 生活利用 をを介 を送り減 らしら保 たいし険 、サ自	とサ改 内容ー善 ののした の変のい 更が用が が不安量の 減の介 少保険	なる量介 たの減保 ため少険 改善・サ した内容 たく変の ない更利 に用	改善 する とは思 えない	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
要支援認定者	1,280	35.4	12.0	2.7	7.7	2.1	24.4	15.7
前期高齢者(65-74歳)	116	40.5	11.2	4.3	9.5	0.9	25.9	7.8
後期高齢者(75歳以上)	1,110	34.9	12.3	2.5	7.7	2.3	24.2	16.2
要介護認定者	1,344	26.1	16.1	3.5	15.1	2.9	27.5	8.9
前期高齢者(65-74歳)	133	37.6	18.8	3.8	9.8	3.0	19.5	7.5
後期高齢者(75歳以上)	1,153	24.8	16.0	3.6	15.9	2.9	28.1	8.7

(6) 介護保険料と介護サービスの利用料

①介護保険サービスと保険料についての考え

○いずれの調査でも「施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が最も高く、4割超から5割半ばとなっている。



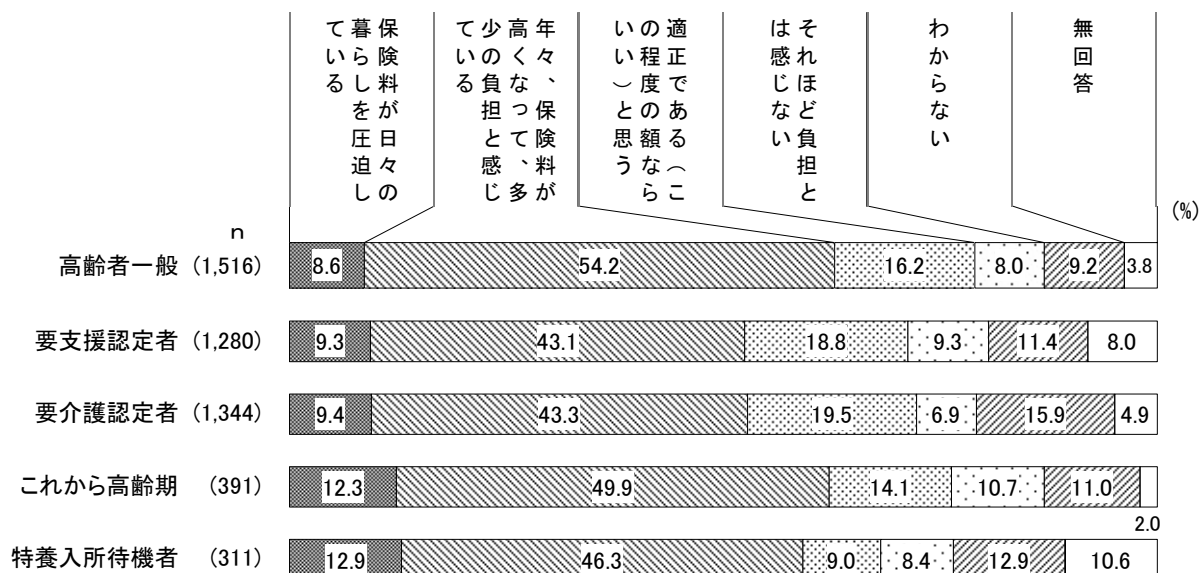
[暮らし向きの感じ方別 / 高齢者一般]

○暮らし向きの感じ方別にみると、『ゆとりがある』は、「施設や在宅サービスの水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が5割半ばで、全体と比べて高くなっている。

	n	抑える方がよい (%)	現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい (%)	サービスは安い水準が低い (%)	わからない (%)	無回答 (%)
高齢者一般	1,516	9.8	50.7	9.2	24.1	6.2
苦しい	492	4.9	44.3	15.0	29.7	6.1
ふつう	793	10.2	53.7	7.6	22.1	6.4
ゆとりがある	200	21.5	56.0	2.0	16.5	4.0

②介護保険料や健康保険料の負担感

- いずれの調査でも「年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている」が最も高くなっている。
- 「保険料が日々の暮らしを圧迫している」は、いずれの調査でも1割前後となっている。



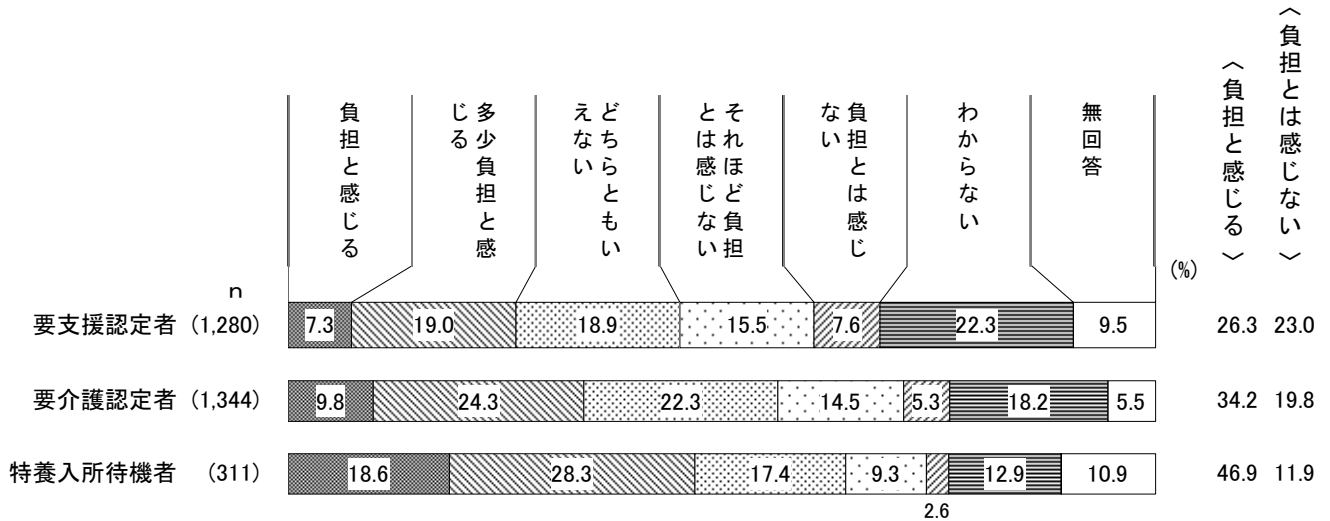
[暮らし向きの感じ方別 / 高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者]

- 暮らし向きの感じ方別にみると、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者ともに、『苦しい』は、「保険料が日々の暮らしを圧迫している」が約2割で、全体と比べて高くなっている。

	n	を保険料が日々の暮らしを圧迫している (%)	年々、保険料が高くなって、多少の負担と感	の適正である(この程度)と思う	なそれほど負担とは感じ	わわからない	無回答 (%)
高齢者一般	1,516	8.6	54.2	16.2	8.0	9.2	3.8
苦しい	492	20.7	53.5	8.7	2.6	11.4	3.0
ふつう	793	3.2	59.0	17.2	8.6	8.2	3.9
ゆとりがある	200	1.0	39.5	31.0	19.5	6.0	3.0
要支援認定者	1,280	9.3	43.1	18.8	9.3	11.4	8.0
苦しい	423	19.9	46.8	10.2	2.4	13.0	7.8
ふつう	650	4.6	43.4	21.8	11.2	11.7	7.2
ゆとりがある	141	-	29.1	34.0	20.6	6.4	9.9
要介護認定者	1,344	9.4	43.3	19.5	6.9	15.9	4.9
苦しい	483	20.1	48.2	10.8	2.3	14.3	4.3
ふつう	683	3.4	44.1	24.5	6.7	17.1	4.2
ゆとりがある	121	-	24.8	30.6	27.3	11.6	5.8

③介護サービス利用料の負担感

- 要支援認定者では、“負担と感ずる”（「負担と感ずる」と「多少負担と感ずる」の合計）と“負担とは感ずらない”（「それほど負担とは感ずらない」と「負担とは感ずらない」の合計）が同程度となっている。
- 要介護認定者では、“負担と感ずる”は3割半ばと、“負担とは感ずらない”を上回っている。
- 特養入所待機者では、“負担と感ずる”は4割半ばと、“負担とは感ずらない”を上回っている。



[暮らし向きの感じ方別 / 要支援認定者、要介護認定者]

- 暮らし向きの感じ方別にみると、要支援認定者、要介護認定者ともに、『苦しい』は、“負担と感ずる”が全体と比べて高くなっている。

	n	(%)							負担と感ずる	負担とは感ずらない
		負担と感ずる	多少負担と感ずる	どちらともいえない	それほど負担とは感ずらない	負担とは感ずらない	わからない	無回答		
要支援認定者	1,280	7.3	19.0	18.9	15.5	7.6	22.3	9.5	26.3	23.0
苦しい	423	15.6	28.1	17.0	6.4	2.1	21.0	9.7	43.7	8.5
ふつう	650	3.4	14.6	21.8	18.6	8.2	24.0	9.4	18.0	26.8
ゆとりがある	141	0.7	9.2	10.6	30.5	22.0	19.9	7.1	9.9	52.5
要介護認定者	1,344	9.8	24.3	22.3	14.5	5.3	18.2	5.5	34.2	19.8
苦しい	483	20.1	32.1	17.2	5.6	1.4	17.6	6.0	52.2	7.0
ふつう	683	4.1	20.8	28.1	18.6	4.7	19.5	4.2	24.9	23.3
ゆとりがある	121	1.7	16.5	14.9	27.3	24.0	9.9	5.8	18.2	51.2